

陳情第45号	受理年月日	令和3年9月14日
付託委員会	教育文化委員会	
件名	北九州市立八幡東幼稚園の存続について	
要旨	<p>公立幼稚園の全廃止について、園児が減少しているから、園児1人当たりの経費が高いからというのは、子育てしやすい街を掲げている北九州市とは思えない理由である。長い歴史のある公立幼稚園の存続を、近年のデータのみで判断することや、突然の発表は到底納得できるものではない。</p> <p>八幡東幼稚園は園児にとっても保護者にとっても、多方面に大きな魅力があり、立地的にもとてもよい場所にあるため、閉園するのはもったいない。先生方は経験や知識が豊富で本当に素晴らしく、安心して子供を預けることができるし、お迎えに行った時の子供の顔を見ると毎日楽しく過ごしていることがすぐわかる。</p> <p>公立幼稚園の全廃止について、保護者に対する説明会がコロナ禍で延期になっているが、説明会を開き、保護者の意見のヒアリングを行ってから検討、決定していただきたい。</p> <p>保護者に届いた資料を読んで思ったことは、まず、今年度入園した子供や保護者は閉園するとは思わずに入園しており、急な園児募集の停止は納得できない。子供を他園と掛け持ちで預けなければならなくなる家庭もあり、これから私立幼稚園を探すのも負担が大きい。</p> <p>財政負担額が私立幼稚園と比べて大きいことを閉園理由に挙げているが、そもそも比べるところではなく、理由として挙げるのはおかしい。</p> <p>私立幼稚園の先生も参加可能な各種研修には、市内の私立幼稚園の先生が満遍なく参加されているのか。</p> <p>周辺の私立幼稚園の配置状況の資料もあったが、近くに幼稚園があれば、保育料が無償化になっているとしてもどこでもいいわけではない。</p> <p>公立幼稚園の役割であった、教育・研究実践園としての役割は、全私立幼稚園が既に担っているのか、これから担う予定なのか。</p>	

(続 く)

幼児教育センターを八幡東幼稚園の場所に設置し、引き続き園児を募集して高見小学校との関わりをより深くしながら、幼稚園の役割も果たすなど検討できないか。

資料によると、20政令指定都市中、公立幼稚園を廃止しているのは5市のみであり、それほど公立幼稚園は必要である。園児数の減少を理由としているが、これまで市は、園児数増加のために、どのような取組をしていたのか。教育長が責任を持って園児募集を行うべく関係部署へ働きかけるべきではないか。

「子育てしやすい街、北九州市」だからこそ、公立幼稚園を全廃止するのではなく、1園でも存続させるべきである。ついでには、八幡東幼稚園を存続させていただきたい。